

ごあいさつ

校長 駒田 勝

育友会の皆さまには、平素より本校の教育活動に対し、物心両面にわたる温かいご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

現在、本校では「知を創造する人づくり」をスローガンに掲げ、校訓である「向上」「友愛」「団結」の三綱領のもと、文武両道の実践を通して、地元西播磨はもとより、兵庫、日本、さらには世界で活躍しようとする高い志を持つ人材の育成に努めております。長く続いた閉鎖的な学校生活とは完全に決別し、生徒たちは日々、活気に満ちた学校生活を送っています。

特に、本校教育の柱の一つに位置付けた探究活動は、文理の垣根を超えた教科横断型教育を先導するなど、全国的にも最先端の取組を展開しています。また、「台湾サイエンスプログラム(台湾研修)」や「京大ラボ訪問」、「Presentation Camp in Okinawa」など、充実した様々な特色ある生徒研修の実施は、本校の大きな魅力となっています。さらに、本校の探究活動を支える「SSH 支援事業」においては、昨年度の国の中間評価で高い評価を得ました。I 期 5 年の事業のうち 3 年目を迎えた高校を対象に文部科学省が行う評価で、本校は最上位評価（1 校）に次ぐ上から 2 番目の評価（5 校）に位置づけられ、対象 46 校中上位 6 校に入る成果を収めました。この評価は、本校教職員のみならず、連携する大学や企業の皆さまにとっても大きな励みとなっています。本年度は、来年度の次期申請に向け、中間評価の結果も踏まえつつ、より効果的な事業が実施できるよう、教育課程や事業内容の見直しを進めてまいります。

また、感染症拡大により中断し、唯一再開が滞っていた「シアトル海外研修」は、関係教職員の粘り強い働きかけにより、相互交流への道が再び開かれました。昨年度末には 24 名の生徒が参加し、米国ワシントン州シアトル近郊のイーストレイク高校を舞台に、10 日間の英語漬けの生活を体験しました。体調を崩す生徒は一人もなく、全員が海外での貴重な経験を胸に無事帰国しました。来年度には、イーストレイク高校からの訪問が予定されており、学校を挙げて歓迎したいと考えております。

なお、「シアトル海外研修」は毎年の実施が望ましいものの、昨今の物価高や円安の影響も大きく、当面は隔年での訪問を予定しております。

最後になりましたが、皆さまもご承知のとおり、来年はいよいよ創立 130 周年という大きな節目を迎えます。本年 5 月には「130 周年記念事業実行委員会」を発足し、第 1 回会合を開催いたしました。お子様の母校である龍野高校の新たな挑戦に対し、今後とも格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。